

晴るばる

JA KITA HARUKA

PR brochure

HARUBARU



vol.192

2023.1月号

中川町幼児センターへもち米寄贈

令和5年 年頭のご挨拶

会長理事 中瀬 省



北海道厚生農業協同組合
連合会 代表理事長

新年あけましておめでとうございま
す。
令和5年の新春を、ご家族皆様がお
揃いでお迎えになられたことと思いま
す。心からお喜び申し上げます。
昨年の本道農業は、オホーツク管内
の降雪、道南地区の豪雨、十勝、釧路地
区の長雨などの被害がありましたが、
全道の作況としてはおおむね順調な年
でありました。しかし、3年が過ぎよう
としている新型コロナウイルス感染症
の影響を受けた本道農業は、消費の低
迷により過去に例をみないほどの農畜
産物の在庫が積み上がりました。さら
に、ロシアによるウクライナ侵攻によ
り、飼料、肥料、燃油等の輸入資源およ
び食料の価格急騰を引き起こし、大変
厳しい状況が続いています。

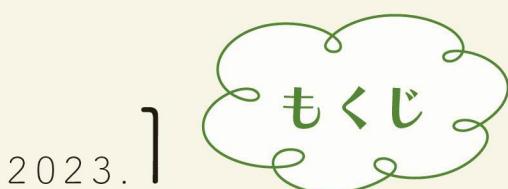


道厚生連の事業におきましても、新
型コロナウイルス感染症のオミクロン
BA5株による爆発的な感染拡大とな
り、一般診療を制限し専用病床を増や
し対応しました。また、自治体主導のワ
クチン接種の協力をはじめ、PCR検
査や発熱外来対応など地域のインフラ
としての役割を發揮してまいりました。

経営的には一昨年に続き、大変厳し
い事業運営となりましたが、国、道、各
自治体からの支援、さらに各地域の皆
様からの温かい励ましの言葉を頂き、
最前線で地域医療を支え続ける従業員
の支えになりました事に、改めて感謝
申し上げます。

新型コロナウイルス感染症との闘い
は長期戦となっていますが、感染対策

だけでは経済が成り立ちません。これ
からは、そのバランスを取りながらの
生活となると思います。
令和5年が新型コロナウイルス感染
症の終息の年となり、組合員の皆様が
笑顔で生活できる年となることを切望
しています。
今年も本格的な冬の季節となりまし
た、雪道の運転、屋根の雪下ろし、転倒
などにも十分に気を付けて、厳しい冬
を乗り切っていただきたいと思いま
す。
結びに組合員の皆様のご多幸と豊穣
の秋を祈念しまして、新年のあいさつ
とします。



中瀬会長理事年頭挨拶	2
小林組合長・役員新年のご挨拶	3
中央会小野寺会長年頭挨拶	4
組織代表者挨拶 美深・下川・中川	5
組織代表者挨拶 美深・下川・中川	6
組織代表者挨拶 美深	7
フォトレポート 美深・中川	8
フォトレポート 美深	9
年末年始業務日程・理事会報告	10
営農情報	11
警察より・組合員の異動・編集後記	12

今月の 表紙



中川町幼児センターへもち米寄贈
11月22日中川町幼児センターへ小林組合長
が訪問しもち米・芋・南瓜を各10kgづつ寄贈
を致しました。

令和5年新年のご挨拶



代表理事組合長
小林 治雄

危機の危険をはらみ、原材料価格とエネルギー価格の未曾有の上昇を招きました。この事は、エネルギーと食料の多くを海外に依存してきた日本にとって特に大きな影響を与えていま

す。一年前と比べると軽油価格は10%、肥料価格は90%、配合飼料価格は30%上昇し、營農資材や農業機械も引きずられるようになります。政府やマスコミは食料安全保障・エネルギー安全保障を声高に叫んでいますが、わが国のはまだまだ不足しています。国に対しては明日がなければその先もないという事をはつきり伝え、私たち農家の明日が必要があります。

組合員の皆様におかれましては令和5年新春をご家族の皆様とともに穩やかに迎えられていることと思いお慶び申し上げます。皆様にあっては旧年中も地域の農業振興にご尽力いただきご協力をいただきましたことに心よりお礼申し上げます。

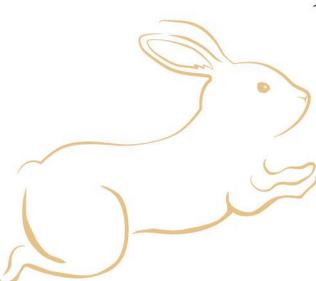
また、美深、下川、中川、音威子府の4自治体には昨年多くのご支援をいたしましたことに深く感謝し、組合員を代表してお礼申し上げます。

令和4年は新型コロナに加え2月のロシアによるウクライナへの軍事侵攻が大きく世界の秩序を変えてしましました。世界的な穀物・肥料原料、さらにエネルギーの供給地であった両国の戦争は全世界規模の食糧危機やエネルギー

に縛られたうえに実質的な手取り乳価の減少、さらに生産コストの大額な上昇に必死に耐えていた中での個体価格の未曾有の暴落で北はるか始まって以来本年を見ても、すべての生産者にとつて肥料価格の大額な上昇・燃油や電気料金のさらなる上昇など生産費が大幅に上昇すると思われます。個々に見ても、水稻では水田利活用交付金見直し問題は一定程度押し返すことができたとも言えますが、今後4年間で大きな決断が迫られます。酪農畜産も配合飼料価格の高止まり、生乳のさらなる減産、なかなか戻らない個体価格など昨年に増して厳しい状況が懸念されます。しかしコロナ禍による観光需要の落ち込みは回復の兆しが見え海外からの観光客も徐々に増えています。急激な円安も昨年末から改善され始めています。今年こそ上向くことを信じて春からの農作業に向け合っていきましょう。

北はるかの農業を振り返ると、一昨年の大干ばつのような異常気象こそありませんでしたが、地域によっては収穫期で計画を大きく下回りました。また、一番牧草も刈遅れが発生しましたが水田・畑作・青果ともおおむね順調であったと感じます。一方で、酪農畜産は計画生産

結びに組合員皆様のご多幸と豊穣の秋を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



謹賀新年

北はるか農業協同組合

会長理事 中瀬 省

代表理事組合長 小林 治雄

常務理事 渡辺 幸一

理事 竹本 学

理事 土田 和博

理事 内山 敦

理事 日野 秀世

理事 古川 満之

理事 谷口 直喜

理事 及川 幸雄

理事 荒谷 博文

理事 松本 芳則

理事 佐藤 導謙

理事 草刈 昇一

理事 米村 敏明

理事 佐藤 審

監理 長向井 朋博

監理 部長 向井 朋博

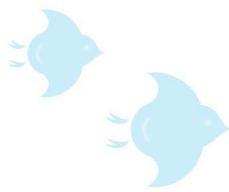
監理 部長 岡田 博英

購買 部長 渡辺 博英

購買 部長 下川支所長 丸山 寛

購買 部長 中川支所長 黒澤 芳美

他職員一同



令和5年の年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会
代表理事長 小野寺 俊幸

新年あけましておめでとうございま
す。

組合員の皆様におかれましては、日々
営農に更に邁進されておられることが
存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸と
なり地域農業の振興や地域社会の発展
に向け、日頃より多大なご尽力をされて
いることに対しまして、改めて敬意と感
謝を申し上げる次第であります。

昨年の本道農業につきましては、春先
は天候に恵まれ地域によって少雨の影
響が見られたものの、その後は順調に推
移しておりました。ただ、6月の降雹、8
月の記録的な大雨、9月の台風により、
一部地域、作物によっては、生育に大き
な影響が出たものがありました。収穫
作業は総じて順調に進み、天候の影響を
大きく受けた作物を除いては平年作を
確保することができました。

しかしながら、新型コロナウイルスと
の戦いが長期化し、各農畜産物の消費は
依然として低迷しております。

さらに、国際紛争や急激な円安の進行
による飼料・肥料をはじめとした生産資
材の高止まりが、農業経営に与える影響

は甚大であり、北海道・全国連とも連携
し、JAグループ北海道としてしっかりと
対応を図って参ります。

食料需給事情が一変しました。輸出制限
を行い、自国の食料を確保する各国の動
きが活発化し、世界的な人口増加による
食料不足問題など食料争奪合戦がすで
に始まっています。我が国の食料を安定
的にどう確保するのか。今こそ大いに食
料安全保障の国民的議論が必要となつ
ています。

J A グループ北海道は、日本の食料基
地であるという使命感に立ち、食料の安
定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大
を両輪として引き続き取り組んで参り

ます。

今年は、第30回JA北海道大会の実践

2年度目となります。

決議された将来ビジョンである、「北

海道550万人と共に創る『力強い農

業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達
成の実現に向け、様々な課題を解決す
る必要があります。

農業を取り巻く環境は厳しい状況が
続いておりますが、このような状況であ
るからこそ、協同組合運動の原点に立ち
返り、相互扶助の精神に基づき互いに協
力し、力を合わせこの難局を乗り越える
必要があります。

また、消費者に対しては、JAグル
ープが提唱する、自国の国民が消費する食
料はできるだけ自国で生産するとい
う「国消国産」に対する理解を求め、消費者
の行動変容に結びつけていくことが望
られます。

このためには、組合員・消費者との「対
話」が重要となりますので、組合員・役職
員が一丸となつてしっかりと取り組ん
で参りましょう。

結びになりますが、本年は卯年です。
卯は穏やかで温厚な性質であることか
ら、「家内安全」、また、その跳躍する姿か
ら「飛躍」「向上」を象徴するものとして

親しまれきました。

他にも「植物の成長」という意味もあ
り、新しいことに挑戦するのに最適な年
と言われています。この謂われにあやか
り、本年が豊穣の年となること、新型コ
ロナウイルスの1日も早い終息と皆様
のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨
拶といたします。



北はるか酪農振興協議会美深部会

会長 竹本 学

新年あけましておめでとうございま
す。

日頃より組合員の皆様にはご理解、
ご協力を頂き心より感謝申し上げま
す。また各関係機関のご協力を賜り重
ねてお礼申し上げます。

昨年は、今もなお終息が見えない新
型コロナウイルスの流行が第7波、第
8波と猛威を振るい続けているのに加
えて、ロシアのウクライナ侵攻後に十
数年ぶりの円安ドル高の影響もあり、
肥料、配合飼料、燃料、食料品等これま
で経験したことのない物価高騰を経験
しました。組合員の皆様におかれまし
ても大変ご苦労された年ではなかっ
たかと思います。

酪農畜産では一昨年末より生乳生産
の増加により消費が間に合わず、生乳
生産の制限が設けられる一方、夏ごろ
より、初生子牛等の値段が大暴落しま
して酪農畜産関係の方々は大変苦労さ
れたと思います。

その様な大変な年ではありました
が、少しずつですが感染対策を実施し
各地のお祭り等が開かれたり、海外か
らの観光客も規制緩和により観光地に

賑わいが出てきています。

本年も度重なる新型コロナウイルス
流行に加えて、ロシアのウクライナ侵
攻や円安による穀物の入手困難、価格
上昇、肥料燃料の高騰が続くと予想さ
れ組合員の皆様におかれましても不安
な令和5年のスタートになると思いま
すが、国に支援を求めるながら、各町村と
連系を取り農業を支えていきたいと思
います。また我々自身も更なる経営努
力と各生産組織との連系を活性化させ
る必要があると思います。

最後に、健康でなければ何事も出来
ないと思います。まだ寒い日々が続き
新型コロナウイルスに加えてインフル
エンザウイルスの感染も注意しなけれ
ばならない季節ですので、どうぞ厳冬
を暖かく過ごし希望の多い春を迎え
て、豊作の秋を迎えることができるよ
うお祈り申し上げます

最後に、健康でなければ何事も出来
ないと思います。まだ寒い日々が続き
新型コロナウイルスに加えてインフル
エンザウイルスの感染も注意しなけれ
ばならない季節ですので、どうぞ厳冬
を暖かく過ごし希望の多い春を迎え
て、豊作の秋を迎えることができるよ
うお祈り申し上げます



J A 北はるか 青果生産振興会下川支部
会長 吉田 公司

新年あけましておめでとうございま
す。

昨年は、長引くコロナ禍に加え、想像
していなかつたロシア・ウクライナ戦
争勃発により、輸入物価は円安も加
わって高止まり、我が国においては燃

油や穀類、肥料を中心としたコストアップ
インフレを生じさせ、我々農家は大き
な負担増を強いられました。

一方で、青果物生産については、生産
者努力と天候にも恵まれ、大幅な収
量減や単価下落といった品目が無かつ
た事は救われました。

今後においても、生産コストが下が
る局面とは考えにくく、モノによつて
はお金があつても手に入らないことす
ら想定すべき状況の中で、いかにして
組合員が経営の工夫と、栽培技術の向
上とを目指して生産量を確保し、所得
に結び付けて行くかが問われるでしょ
う。當農計画にあたつては、各部会で創
意工夫に知恵を出し合い、各関係機関
のお力も借り、連携して臨むことが出
来るよう、振興会としてサポート出来
たらと考えます。

最後に、皆様のますますのご健勝と
忌憚のないご指導・ご鞭撻をお願いし
まして、ご挨拶に代えさせていただき
ます。



会長 小林 裕司

新年あけましておめでとうございま
す。

昨年は、長引くコロナ禍に加え、想像
していなかつたロシア・ウクライナ戦
争勃発により、輸入物価は円安も加
わって高止まり、我が国においては燃

して、町JA・普及センターなど、皆様
にご理解ご協力いただき、厚く御礼申
し上げます。

昨今、配合飼料、肥料、資材等の高騰
により自給粗飼料の重要性が増してお
りますが、泌乳量に関わらず、「自給粗
飼料・地元産の粗飼料」から、より多く
の生乳生産をすることが、持続性ある
畜産に繋がると思います。

昨年度の活動としましては、新規就
農予定者の牛舎視察での意見交換や普
及センター職員の方からの放牧酪農に
おけるアプローチ対策の重要性について学び
ました。

また、「SOIL」では、北はるか管
内、管外問わず、放牧酪農をしている農
家との交流を深めており、今後、放牧を
実践予定の方がおりましたら、様々な形
で交流させていただきたいと考えて
おります。

最後になりますが、皆様のご健康と
ご多幸をお祈りいたしまして、新年の
ご挨拶とさせていただきます。

※「SOIL」とは：農業の原点である
土づくりの見識を深め、常に向上心を
持ち様々な角度から農業を見つめる事
により自主的農業経営の改善及び農業
技術水準の向上に努める事を目的とする
組織であり、中川地区の生産者で構成。

多幸をお祈りいたしまして、簡単ではございますが、新年のご挨拶とさせていただきます。



J.A.北はるかもち米生産組合
組合長 深澤 光宏

新年あけましておめでとうございます。

日頃より当組合の活動において、各関係機関、組合員の皆様方にはご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

昨年度を振り返りますと、積雪は平年並み、融雪も順調に進み播種、移植作業は平年より早い年になりました。しかし、6月上旬には低温・また風による初期生育の遅れが生じ心配ではあります。たが、7月からは天候が回復し作柄も順調に成長を遂げ収量・品質共に良いものになりました。とても良い年になりました。

また、近年は全道的に好天に恵まれ豊作の年が続いておりますが、日頃からご指導頂いております普及員さんと生産者の努力の賜物かと思います。これからも、持続可能な農業を目指して努力していき、皆様に安心、安全で食べて頂けるように頑張っていきたいと思っています。

最後になりますが、今後ともより一層のご支援、ご指導を賜りますことをお願い致します。

そして皆様とご家族様のご健康とご

様に毎日収入がある訳ではないので、畑作農家同様に市況の情勢によつて経営が左右します。この状況を私達生産者はどう打破し、更なる発展を遂げて行かなければならぬのか?一つに去年鹿児島で行われた和牛共進会に答えがあつた気がします。質量兼備な牛創り、口で言つるのは簡単ですが、実際に関わつている全ての方々は重みを理解されるでしょう。良い作物は良い土作りからと言う教えがあるとおり、どれだけ永い年月が必要となるのか?だからと言つて一人の力には限界があると私は思います。



下川町和牛組合
組合長 中村 正人

新年あけましておめでとうございます。

日頃より当組合活動において、各関係機関、組合員の皆様方にはご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

昨年度を振り返りますと、積雪は平年並み、融雪も順調に進み播種、移植作業は平年より早い年になりました。しかし、6月上旬には低温・また風による初期生育の遅れが生じ心配ではあります。たが、7月からは天候が回復し作柄も順調に成長を遂げ収量・品質共に良いものになりました。とても良い年になりました。

また、近年は全道的に好天に恵まれ豊作の年が続いておりますが、日頃からご指導頂いております普及員さんと生産者の努力の賜物かと思います。これからも、持続可能な農業を目指して努力していき、皆様に安心、安全で食べて頂けるように頑張っていきたいと思っています。

最後になりますが、今後ともより一層のご支援、ご指導を賜りますことをお願い致します。

そして皆様とご家族様のご健康とご

日頃より、なでしこ会の活動におきまして関係機関、組合員の皆様、役職員の方々のご理解とご協力を頂き、心よりお礼申し上げます。

コロナ禍となつてから、私達は活動を縮小しました。今年度は、8月にレジン(樹脂)を使つた小物作り、12月にかぎ針編みを行つています。2019年までは毎年恒例となつておりました美深スズラン会とのフレッシュユミズ交流会ですが、翌年以降から大事を取り送らせて頂いております。交流の機会が減り寂しくもありますが、今はコロナが落ち着き、また以前の様に様々な場所へ行き、心置きなく研修や交流に取り組む事が出来る様願うばかりです。

現在、なでしこ会は8名となりました。小規模ではありますが、今いる会員と活動出来る機会があるのは有り難い事です。私達の活動の場は、仕事や家庭、育児等の情報交換や気分転換にもなり、また普段の生活に戻つて頑張ろうと思える場所です。その為、今後も感染症対策に配慮しつつ、今出来る形での活動を考え開催していくたらと思います。

最後に、皆様のご健勝とご多幸を願います。私は下川で数少ない和牛に特化した経営を営んでおりますが、酪農家さんの生きがいがない原因に私達は動搖を隠せない日々を過ごしています。



J.A.北はるか女性部 なでしこ会
会長 土田 ゆかり

新年あけましておめでとうございます。

日頃より当組合活動において、各関係機関、組合員の皆様方にはご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

組合員の皆様におかれましては健やかな新年を迎えた事とお慶び申しあげます。

日頃より当組合活動については各関係機関ならびに組合員の皆様方にご理解ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨今、和牛スマートならびに素牛の価格が低迷に傾き厳しいですが、去年後半からより価格下落幅が大きく生じ、私達に立たされています。主な原因は皆さんご承知のとおり、ウ露戦争を起因とする様々な資源の供給の低下、それに連鎖反応するよう起こり始めた各国の通貨価値の下落、更には安定的な発展を遂げてきた世界経済の行き詰まり感、数えればきりがない原因に私達は動搖を隠せない日々を過ごしています。

私は下川で数少ない和牛に特化した経営を営んでおりますが、酪農家さんの



J A 北はるか 青年部

部長 杉田 旭

新年あけましておめでとうございます。

日頃より青年部活動におきまして、組合員の皆様、関係者の皆様にはご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

一昨年までの青年部活動では新型コロナウイルスの影響により限られた活動しか出来ませんでしたが、昨年の活動に関しましては、依然として感染リスクを考慮した中ではありましたが、いくつかコロナ以前の活動が出来たのではと思います。

主な活動としては毎年恒例の小学校での食育活動のほかに「スズラン会」「JA女性部」の皆さんと一緒に北はるかの食材を使いレシピの作成、試食を行いました。慣れない調理ではありました女性部スズラン会の皆様のご協力もあり夏野菜カレーや南瓜のミルクサラダなど素敵なお料理が出来ました。ここで作成したレシピはレシピ集に掲載し、旭川にあるJA上川ビルにてビュッフェ形式で提供されました。

他にも新型コロナの蔓延後3年ぶりに秋祭りの出店をしました。部員やお客様の感染拡大の心配はあったものの当日は非常に沢山の方が来場して焼き鳥やイベントを楽しんで頂き、久しぶりに活気のある活動が出来たと思います。

今後もコロナの終息の見通せない中ではありますが、農業の発展と地域に貢献できる活動を目指し部員一同邁進していきたいと思います。

終わりになりますが、今後とも北はるか青年部の発展と皆様のご健勝とご多幸を祈りましてご挨拶とさせて頂きます。

美深

農業支援塾が開講しました!

Photo Report

美深町農業振興センターにて、美深町、農業改良普及センター、JAなどの関係機関が講師となって、農業の基礎項目の学習等を行う「美深町農業支援塾」(塾長市村匡史)が、11月14日の開講式から冬季間に約4か月間のスケジュールで開催されます。

美深、下川地区の新規就農予定者8名が塾生となり、農業に関する様々な知識を学習するこの会は今年で7年目となり、農業後継者も基礎的な知識を習得することを目的としております。

12月2日に行われた講義ではJA北海道中央会旭川支所の「吉田有花」氏、「島津遼真」氏を講師にお招きし、「農業協同組合の仕組みと組合員の義務」「組合員勘定制度について」と題した講義がそれぞれ行われ、塾生の他、研修活動の一環として女性部員5名が参加しました。受講者からは「クミカン制度の利用にあたって気

を付ける事を教えてほしい」「資金供給限度額と貸越極度額の違いについて詳しく教えて欲しい」など積極的に質問が上がっておりました。女性部員からは「知らなかった事もあり、とても勉強になった」、「またこういう機会があれば参加してみたい」との声を頂きました。

新規就農予定者は、来年3月の終了式まで、座学を中心に農業経営に関する基礎知識の習得を目指す事となります。



座学の様子

中川

中川町幼児センターへもち米寄贈

11月22日中川町幼児センターへ、小林組合長が訪問しもち米を寄贈しました。

今年も幼児センターの園児達は、小さい体で重たいお米を受け取っていました。寄贈されたもち米は11月30日に毎年恒例の「もちつき大会」で使われ、お雑煮やきなこ、あんこ、なつとう、ごまもちにして美味しいただいていました。

今年度は、もち米10kgの他に芋・南瓜を各10kgの寄贈致しました。



美深

女性部スズラン会研修旅行を開催！

12月6日にJA北はるか女性部スズラン会の研修旅行で旭川市花咲町のスポーツ公園馬場内にある旭川乗馬クラブで引馬体験を致しました。

最初に注意事項を聞いた後、台を使いながら鞍にまたがりスタッフさんが馬に繋がれた紐を持ち誘導しながら体験スタート！最初緊張が見られましたが、慣れてくるとスタッフさんと談笑したり、手を振ったりと乗馬の心地良い揺れを楽しみながら笑顔で牧場内の広場をゆっくりと回りました。

体験後、「普段できない貴重な体験が出来て良かった。」「乗馬からの視界が高くてびっくりしました。馬から降りる時は怖かったが、もっと長く体験したい」との事でした。

日常と異なる体験を共有し親睦を深める大切な時間を過ごす事が出来ました。



引馬体験の様子

下川

JA北はるか青果生産振興会下川支部青年部道内視察について

JA北はるか青果生産振興会下川支部青年部では、11月25日から26日にかけて、道内視察研修を行って参りました。今回は部員4名が参加し、上川農業試験場で行っている効率の良いハウス栽培試験を見学し、ハウス内環境制御について学びました。

午後からは、株式会社キヨクイチへ行き青果物販売概況及び産地情報の協議を行い、とても有意義な時間を過ごしました。

今回の視察研修で学んだことを今後の営農に生かし、生産意欲の向上にもつながるよう、このような活動を引き続き行って参ります。



中川

中川町ホルスタイン改良協議会勉強会

12月1日、JA北はるか中川支所2階にて中川町ホルスタイン改良協議会の勉強会を開催しました。

今回の勉強会は講師としてMPアグロ株式会社、オルテック・ジャパン合同会社の方を1名ずつお招きして会員7名と事務局含め計10名で「乳牛の飼料効率と改善方法について」をテーマに行いました。

まずは飼料効率の定義から始まり纖維質飼料のサイズ・給与方法や給餌回数、他の配合飼料とのバランスをとるなど様々なことが乳牛のルーメン内を健康に保ち、飼料効率にプラスの影響を与え、逆に纖維質飼料と配合飼料のバランスが悪かったり、飼槽が空の状態が長く続くと乳牛のルーメン内のpHが下がった「ルーメンアシドーシス」の状態になり、飼料効率にマイナスの影響を与えることを説明していただきました。

次に「ルーメンアシドーシス」に焦点を当てて、ルーメン内のpHが下がった状態であると纖維質飼料を消化する力が弱まり乳牛が最悪死に至ること、予防するため

には乳牛の糞を確認し、糞中に纖維質飼料がたくさん残っていないかどうかを確認することが重要であると教えていただきました。

最後はデントコーンサイレージ内のカビ毒の危険性について説明していただき、カビ毒分析や吸着剤を添加するといった対策があることを紹介していただき中川町のデントコーンサイレージにも取り入れてみたら良いのではないかという意見も出ていました。

今後も外部からの講師を招いた勉強会を開催し、より良い飼養管理を目指します。



美深

インボイス学習会を開催致しました

11月29日、12月6日の2日間に渡りJA北はるか3階大會議室にてインボイス学習会を開催致しました。令和5年10月1日から新たに始まるインボイス制度に対応する為に、美深町農業経営研究会(会長 草刈 昇一氏)と共に開催し、29日は税理士法人薄井会計 代表社員 薄井 タカ子氏、2日には名寄税務署 統括国税調査官 宮田 剛氏を講師に招いて開催を致しました。

両日ともに各支所もリモート配信で講義が行われ、計80名以上の方が参加されました。参加者は皆真剣に耳

を傾けており、当制度への関心の高さが伺える会となりました。

草刈会長は、「インボイス制度は消費税の仕組みが大幅な変更となり、課税事業者、免税事業者共に大きな影響を受けるものとなります。それぞれが十分な理解をした上で、適切に対応する事が大切になりますので、今後も当会からも情報提供をして参ります」と話されました。



学習会の様子

美深

防犯訓練を実施しました！

12月7日にJA北はるか本所金融店舗を狙った強盗事件を想定した防犯訓練が行われました。

年末には犯罪が増える傾向にあるため、防犯意識を高めると共に、強盗事件発生時の対応を目的に美深地区金融機関防犯連絡協議会主催で毎年町内の金融機関の持ち回りで行われ、今年度も名寄警察署協力のもと約15名が訓練に参加しました。

訓練では、強盗に扮した警察官が店舗に侵入し刃物を出して「金を出せ」と職員を脅して金銭を要求し職員は非常通報装置を作動し、合言葉で事件発生を周りに知らせ、警察へ通報しました。

訓練後の講話で、名寄警察署生活安全課 景山係長は、参加者に犯人の特徴や凶器の種類、逃走方法など

を覚えておく事が重要と説明し、「店舗の入り口で掃除や除雪はとても有効であり、来店者への挨拶や声掛けで犯人は顔を見られたと感じ犯行を思いとどまる事もあります。普段から声掛けや挨拶を徹底して犯罪防止に努めて頂きたい」と呼び掛けました。

金融担当職員は「訓練だとわかっていてもマニュアル通り動くのは難しく、日頃から防犯意識を持って業務に取り組む必要性を感じました」松本信担理事は「緊迫した状況の中で落ち着いて対応する難しさや、役割分担がいかに重要であるかを痛感しました。高齢者を狙った特殊詐欺も多発している為、今後も挨拶や声掛けなどを徹底して防犯対策を強化していきたい」と話をしました。



防犯訓練の様子

年末年始 業務日程	12月		1月					
	30日 金	31日 土	1日 日	2日 月	3日 火	4日 水	5日 木	6日 金
本所	一般事務	12時迄	休	休	休	休	休	営業
	貯金・共済窓口 (クミカジ)	15時迄	休	休	休	15時迄	15時迄	営業
	ATM	15時迄	休	休	休	15時迄	15時迄	営業
	資材店舗	12時迄	休	休	休	休	休	営業
	機械センター	12時迄	休	休	休	休	休	営業
	セルフスタンド	営業	12時迄	休	休	営業	営業	営業
下川支所	一般事務	12時迄	休	休	休	休	休	営業
	貯金・共済窓口 (クミカジ)	15時迄	休	休	休	15時迄	15時迄	営業
	ATM	15時迄	休	休	休	15時迄	15時迄	営業
	資材店舗	12時迄	休	休	休	休	休	営業
	スタンド	営業	12時迄	休	休	12時迄	12時迄	営業
中川支所	一般事務	12時迄	休	休	休	休	休	営業
	貯金・共済窓口 (クミカジ)	15時迄	休	休	休	15時迄	15時迄	営業
	ATM	15時迄	休	休	休	15時迄	15時迄	営業
	資材店舗	12時迄	休	休	休	休	休	営業
	スタンド	営業	12時迄	休	休	12時迄	12時迄	営業

理 事 会 報 告



第9回 理事会 10月28日(金)

■決議事項

- 議案第1号 第5回臨時総代会の開催について
議案第2号 組合員への融資について(畜産クラスター事業)

■報告事項

1. 9月末 財務状況について
2. 第3四半期 監事監査の実施について
3. カスタマーハラスメント防止に関する基本方針(案)について
4. 各部からの報告事項について
5. 担い手定期巡回の報告について(下川支所)

12・1月行事予定

- 12月23日(金) 第11回 理事会
1月27日(金) 第12回 理事会

第10回 理事会 11月25日(金)

■決議事項

- 議案第1号 地区别別営農懇談会の開催と説明資料について

- 議案第2号 旧音威子府支所跡地の処分について

- 議案第3号 組合員への融資対応について(営農販売部・中川支所)

- 議案第4号 理事との契約について

■報告事項

1. 10月末基準 決算推定の報告について
2. 各部からの報告について
3. 収支シミュレーション(中間報告)について
4. 西條Qマートとの賃貸契約更新について
5. 年末手当の支給について
6. 営農推進会議の結果報告について

J A 北はるかもち米生産風景の動画掲載について

北はるかの美味しいもち米が生産されるまでをより皆さんに知ってもらう為に、JA北はるかもち米生産組合美深部会の皆さん協力し、動画を作成致しました。ローンを上手く使い機械を操作する目線からの映像、大きな田植機を華麗な操作で畦ぎりぎりに苗を植えている映像、美深町の綺麗な自然の中での作業風景も見ることが出来る圧巻の動画になっております！是非多くの方にご覧を頂きたいと思いますので、よろしくお願ひ致します。



J A 北はるか
もち米生産組合 動画検索



令和4年をふりかえって

●水 稲

は種作業は平年並に行われた。育苗期間の高温により早期異常出穂がみられた。移植後の低温により植え傷みが発生したが、6月中旬以降の高温により、生育は回復し幼穂形成期および出穂期は平年並となった。登熟期間は高温多照で推移したので、登熟は良好で、成熟期は平年に比べ早かった。穂数、稔実歩合、m²当たり総粒数、千粒重、収量品質は平年を上回った。

●秋まき小麦(美深町)

は種は平年より早く、出芽および越冬前の生育は良好であった。融雪期は4月17日で平年より4日早かった。起生期および幼穂形成期は平年並であった。出穂期は6月10日で平年と同じであったが、出穂以降の高温より成熟期は平年より2日早い7月21日となった。登熟期間の高温と登熟後期の少雨により製品率が低下し、収量は平年を下回った。収穫期間中は少雨で、収穫期は7月25日で平年に比べ5日早くなった。

●春まき小麦(初冬まき栽培(下川町)、春まき栽培(美深町))

初冬まき栽培のは種は10月28日に始まり、11月6日に終了した。融雪期は平年より8日早い4月5日であった。茎数は平年より多く推移したが、出穂期および成熟期は平年より早くなかった。登熟期間の高温と登熟後期の少雨により製品率が低下し、収量は平年を下回った。収穫作業は降雨が少なく早かった。春まき栽培のは種は、平年並であった。出芽は良好で、茎数は平年より多く推移したが、出穂期および成熟期は平年より早くなかった。登熟期間の高温と登熟後期の少雨により製品率が低下し、収量は平年を下回った。収穫作業は降雨が少なく早かった。

●小 豆

は種期は5月24日で平年より3日早かったが、出芽期は6月上旬の低温の影響を受け、平年と同じ6月12日となった。6月中旬以降の高温により、生育は旺盛となり、開花期は7月30日で平年より2日早かった。8月中旬の降雨により茎長は徒長し、倒伏を招いた。登熟期間は高温となり成熟期は9月12日で平年より13日早かった。着莢数は平年に比べ多かったが、一莢内粒数は少なく、百粒重は軽く、収量は平年をやや下回ったが品質は平年並であった。収穫作業は降雨により平年並であった。

●てんさい

は種期は平年並の3月21日、移植期も平年並の5月13日であった。移植後の植え傷みは少なく、初期生育は良好であった。その後の生育も平年並に進み、適度な降雨もあり、最終の根周は平年よりやや大きく、収量は平年をやや上回った。収穫作業は平年並であった。

●そ ば

は種作業は例年並で、出芽は良好だった。6月前半の低温により初期生育は緩慢であった。天候の回復に伴い生育も例年並となつたが、地区内でも降水量の多少により生育のばらつきがみられた。開花期は例年並みであったが、8月8日の大雨で多くのほ場が倒伏した。生育の旺盛なほ場での倒伏程度が大きかった。倒伏による着粒数の減少と登熟不良による子実の充実度不足により収量は例年を下回った。収穫作業は例年並であった。

●かぼちゃ

は種作業は5月5半旬から始まり、出芽にばらつきがあったものの定植は例年並みであった。定植直後は日照不足・降雨の影響で一部ほ場で葉色の退色や草勢が弱いほ場がみられたが、7月上旬は高温傾向が続き、生育は良好となった。一部では、定植期の低温の影響で、雌花の着生が多い傾向であったが、7月3~4半旬の低温傾向で開花時期によっては着果状況が不安定で落下も目立った。着果数は並からやや少ないが、肥大は良好であった。病気は、6月中旬以降の多湿の影響を受け、生育初期から細菌性病害が発生した。うどんこ病は、7月5半旬より発生がみられた。8月後半の断続的な降雨で、葉の黄化が進み、8月6半旬から収穫が開始された。品質は並、規格内収量は例年をやや上回った。

●牧 草

萌芽期は平年より1日早い4月20日となった。5月上中旬は気温が高かったが、5月末から6月中旬にかけて低温が続き、出穂期は平年より2日遅い6月19日となり、一番草の草丈は平年より長かった。収穫作業は断続的な降雨の合間で進められ、収穫期は6月28日で平年より5日早かった。二番草の生育は、7月中旬以降の高温多照により草丈の伸長は順調で、収穫作業は順調に進んだ。牧草生収量では、一番草で平年対比115%、二番草で平年対比114%となった。

●飼料用とうもろこし

は種期は5月中旬の好天により、平年より5日早い5月23日となった。6月上旬の低温により、出芽期は平年より2日早い6月7日になり、初期生育はほ場間差がみられた。その後の天候は7月中旬の低温を除いて概ね平年並から高温で推移し、雄穂抽出期は平年並の8月1日、絹糸抽出期は平年より1日早い8月3日となったが、降雨量の地域間差が大きく、茎葉重に影響を与えた。登熟期間は高温で推移したので、黄熟期は平年より3日早い9月17日となった。収穫期は平年並の10月1日となった。生収量・栄養価は平年を下回ったが、は種時期の早晚や降水量の多少などによりほ場間でのばらつきがみられた。



警察より



1 北海道警察防犯アプリケーション「ほくとポリス」の周知・利用促進 防犯アプリで安全・安心！

北海道警察公式防犯アプリ「ほくとポリス」は、北海道内の犯罪、不審者、特殊詐欺情報を表示するほか、防犯ブザー・ちかん対策機能等により、皆さんの安全と安心な暮らしを支援します。

2 雪による事故の防止 慣れた雪かき危険がいっぱい

- 早めの氷雪下ろしを** 例年、屋根からの氷雪の落下により、下敷きになるなどの事故が発生しています。氷雪が屋根からせり出している軒下などは、危険ですので近づかないようにしましょう。また、氷雪は早めに下ろして、落氷による事故を防止しましょう。
- 雪下ろし作業は複数で行い安全確保** 例年、屋根の雪下ろし中に、ハシゴや屋根から転落する事故も発生しています。作業するときは、補助者を置くなど複数で行うとともに、転落防止や万一に備え、万全の措置を講じ、自身の安全を確保しましょう。
- 除雪機に注意** 例年、除雪機による除雪作業中に、衣類を巻き込まれたり、下敷きになるなどの事故も発生しています。除雪作業時は、作業に適した服装を着用し、エンジンを掛けたまま雪詰まりを取り除くなどの作業は絶対にやめましょう。

3 110番通報の適切な利用の促進や警察相談専用電話(#9110)等の紹介と周知緊急通報は110番、相談電話は「#9110」に！

110番は、緊急の事件・事故などを、いち早く警察へ通報するための緊急電話です。110番に出た警察官が、事件・事故の内容に基づいて必要な事項を質問します。慌てず落ち着いて正しく答えてください。警察官が早く現場に到着できるよう、その場所の住所や付近の目標となる建物などを正しく伝えてください。携帯電話で110番する場合、車で移動しながらの通報や歩きながらの通報は通話が途切れることがありますので控えてください。また、車を運転しながらの通報は法令違反となる場合がありますので、車を安全な場所に停止して通報をしてください。110番通報時に音声だけでは状況が分からぬ場合等、スマートフォンから現場の状況等の動画や静止画像の提供をお願いする場合があります(通信料金を御負担いただくことになります)。110番アプリは、聴覚や言語に障がいがある方など、音声による110番通報が困難な方が、スマートフォン等を利用して、文字で警察に緊急通報するシステムです。

110番アプリを利用するためには、事前に専用のアプリをダウンロードする必要があります。音声による110番通報が可能な方は電話での110番通報をお願いします。緊急の対応を必要としない遺失物・拾得物の届出、諸手続に関する照会などは、最寄りの警察署、交番・駐在所の電話を、相談や警察業務に関する意見・要望は、短縮ダイヤル「#9110」の警察相談専用電話をご利用ください。

4 冬道における交通事故の防止 ストップ・ザ・交通事故～めざせ安全で安心な北海道～

- スピードダウンと慎重な運転** 冬道では、スリップによる正面衝突や路外逸脱などの交通事故、凍結路面における追突事故が多発します。特に日陰や橋の上、トンネルの出入口は日中でも滑りやすくなっていますので、スピードダウンと道路状況に合わせた慎重な運転を心掛けましょう。
- 時間に余裕を持った運転** 天候や道路状況により渋滞が発生し、目的地までに時間がかかることが予想されます。時間に余裕がないと、先を急いで交通事故に繋がる可能性がありますので、事前に目的地までの道路状況や天候を確認して、時間に余裕を持った運転に心掛けましょう。
- 「急」のつく運転操作は危険** 急発進、急ハンドル、急ブレーキといった「急」のつく運転操作はスリップなどの思わぬ交通事故につながり、大変危険ですのでやめましょう。
- 交差点の死角に注意** 道路脇には、雪山ができるドライバーや歩行者の視界を遮り、見通しが悪くなります。交差点を通過する際は「車が来ているかもしれない」、「歩行者が横断するかもしれない」と予測して、運転しましょう。
- 悪天候に注意** 吹雪や大雪時の運転は、吹きだまりや視界不良による立ち往生等の危険が伴い、命を落とす結果となる場合があります。悪天候の場合は、不要不急の外出は控えるようにし、やむを得ず車で外出するときは、事前に道路情報を確認するとともに、万が一に備えて防寒具やスコップ等を準備しましょう。

5 違法・迷惑駐車の防止 やめましょうみんなが困る迷惑駐車 違法・迷惑駐車は、次のような危険や障害の原因となります。

- 道路を狭くして通行の妨害になります。** 違法駐車があるために、交通渋滞を引き起こし、スムーズな車両走行ができなくなることがあります。また、歩道上駐車は歩行者の通行を妨げます。
- 交差点付近での事故の原因となります。** 交差点付近の違法駐車は、通行する車両や歩行者の見通しを妨げ、交差点事故の原因となります。
- 緊急車両の活動を妨げます。** 狹い道路に違法駐車があるときは、他の車両が通行不能となります。特に、消防車や救急車などの緊急車両の活動を妨げ、人命救助に重大な影響を与えます。
- 歩行者事故などの原因になります。** 住宅街での違法駐車は、駐車車両の直前や直後から幼児、児童の飛び出しによる事故や、夜間には走行車両が駐車車両に気付かずに衝突するなど、交通事故の原因にもなります。
- 除排雪作業の障害となります。** 違法駐車が除排雪作業の妨げとなり、住民に迷惑をかけ、生活にも重大な影響を与えます。

組合員の異動

令和4年11月30日現在
※() 前号比

地区名	正組合員数	准組合員数
美深・音威子府	(-3名)	272名
下川支所	(+2名)	149名
中川支所	(±0名)	91名
合 計	(-1名)	512名
		1,420名

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスの影響で資材物価高騰、ウクライナ情勢に伴う穀物価格の上昇等によって配合飼料価格が上昇しており、苦労の多い年だったかと思います。本年につきましては、良い1年だった振り返ることができます年になる様、心よりお祈り申し上げます。

(H・M)